

令和4年度第1回茂原市子ども・子育て審議会 会議録

日 時	令和4年6月29日（水） 13：30～15：15
会 場	茂原市役所市民室
出席委員	中田会長、平井副会長、岡本委員、安田委員、柳瀬委員、佐藤委員、 佐野委員、澤田委員、木村委員、河野委員、鬼島委員、萬谷委員、 荒谷委員
関係課	中村教育部長、佐久間教育部次長兼教育総務課長、伊藤学校教育課長、 宮内学校教育課主幹、安藤学校教育課学務係長
事務局	渡邊福祉部長、平井福祉部次長兼社会福祉課長、根本子育て支援課長、 齊藤課長補佐、岡沢子育て家庭相談室長、花沢主査、高橋主事
傍聴者	1人
配布資料	
・資料1-1	教育・保育施設の量の見込みと確保方策
・資料1-2	地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保方策
・資料1-3	分野別施策の推進
・資料2	第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

会議次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 委員紹介
- 4 議 事
 - (1) 令和3年度茂原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
 - (2) 第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

会議要旨

(議事)

(1) 令和3年度茂原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
＜事務局から、資料1-1、1-2、1-3に基づき説明＞

(議長)

それではこれから御質問、御意見を承りますけれども、事業が令和3年度の振り返りですから、大変膨大な規模になっておりますので、三つの部門ごとに順次行っていききたいと思います。

なお、発言なさる場合は、恐縮でございますけれども、挙手をお願いいたします。

そしてまた、質問の前に、事業番号を言っていただくと、新しい委員もすぐ対応できるかと思いますので、よろしくお願いいたします。

それではまず、資料1-1「令和3年度 茂原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況」についてから進めたいと思います。

どうぞ、御意見、御質問を承ります。

(委員)

はい。資料1-1の2ページ、「保育所等利用待機児童」ですが、令和3年、令和4年で待機児童がゼロになりましたという説明を伺いまして、とても素晴らしいことだなと思っております。

これは、希望者全員が希望園に入園できたと考えてよろしいでしょうか。

また、茂原市内企業に勤めていて、他市に在住けれども、茂原市内の保育所等を利用するという人もいるのでしょうか。

質問2点について、よろしくお願いいたします。

(議長)

はい。それでは事務局、御答弁をお願いいたします。はい。事務局どうぞ。

(事務局)

一つ目の質問の「希望園に皆さん入られているか」ということの回答についてですが、茂原市は、市内全域を一つの圏域として設定しておりますので、市内の保育所であれば、どの保育所も利用できるということになっております。

そのため、入所の申込みにあたっては、できるだけ多くの希望園を書いてもらえるようお願いしていますが、第1希望に入れなくて、第2希望、第3希望、または全く希望しない園にやむを得ず入所されている方が多々いらっしゃいます。これは制度上やむを得ないことだと考えております。

また、2つ目の質問にございました他市の方が市内の保育所を利用されているというケースでございますが、他市の方も利用することは可能です。

その場合は、事前に所在市町村から茂原市に協議がありまして、その結果、受入れ

を行っております。細かい数字と言いますか、正式な数字はすぐに出ないのですが、10数名の方が市外の方で市内の保育所を利用しております。

(議長)

はい、ありがとうございました。いかがでしょうか。

(委員)

はい、ありがとうございます。

私の知っている保護者の方で千葉市の方が、通勤経路上にある保育園を希望していたが、結局入所できず、育児休業を延長したということがありました。希望した園に入れなかったが、他の保育所等が空いているため、数字上は待機児童ゼロになっているとのことで、待機児童数ゼロは、希望する園に入所できていることを意味している訳ではないということを確認したくて質問いたしました。

(議長)

はい、ありがとうございます。次の質問どうぞ。

無いうでございまして、続きまして、資料1—2「地域子ども・子育て支援事業の見込み量と確保方策」、この説明は8事業をピックアップして説明いただきましたけれども、御説明いただかなかった事業も、御質問承ってよろしゅうございますか。

はい。それでは、13事業をすべて承りますということでございますので、順次、御質問、御意見をお願いいたします。はい。どうぞ。

(委員)

子どもたちのために、いろいろな事業を子育て支援課を中心に、整えていただき本当にありがとうございます。

私の方から、5つほど御質問させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

まず、一つ目は事業番号5「養育支援訪問事業」になります。

資料の令和4年度の取り組みには書かれていないのですが「養育支援訪問事業」というのは、養育がちょっと困難なご家庭に対して、今までは専門職の方、保健師とか看護師、保育士とかが訪問して適切な養育ができるようにということでやっていた事業に加えて、令和4年度から家事育児支援ということで、ホームヘルパーが利用できるようになったと伺っております。

拡充されたということで、とてもうれしいことだと思っているんですけども、どのくらいの規模で支援対策を整えているのかということと、最近ヤングケアラーという言葉が話題になっていると思いますが、そういった御家庭も対象になるかどうかを御質問させていただきます。

5点全部言った方がいいですか。

(議長)

それでは事務局も大変だと思いますので、一つ一つ区切って御質問・御答弁をお願いいたします。

それでは、事務局お願いいたします。

(事務局)

はい。それではただいま御質問がありました「養育支援事業」につきまして、回答させていただきたいと思います。

昨年までは、専門的相談支援ということで、保健師や保育士の方が各御家庭を訪問し、相談支援を行っておりました。この令和4年度からは、新たに家事育児支援ということで必要な家庭に対しましてホームヘルパーを派遣して支援を実施する取組を行っております。

規模につきましては予算的なことでしょうか。

(委員)

例えば専門相談支援の場合は、1クール、10回で3クールまでできるという決まりがあったと思うのですが、こちらの家事育児支援についてどのくらいの規模で支援ができるのかを伺えればと思います。

(事務局)

1日1回の訪問で、上限2時間までとなっております。時間は午前9時から夕方5時までを予定しております。

あと、回数といたしましては、1件の御家庭に関しまして1日2時間、10回を1クールとして考えております。よろしいでしょうか。

(委員)

ありがとうございます。では、1クール10回ということで、最大10回で終了でしょうか。

(事務局)

家庭の状況によって、追加の支援が必要な場合は引き続き利用していただくことを考えております。

(委員)

お母さんたちが病気を抱えていて片付けられないとか、家事が思うようにできない御家庭も多々あると思います。最大10回だと改善が見込まれない家庭もあると思いま

すので、繰り返し支援していただければと思います。

（事務局）

あと、ヤングケアラーの御家庭について御質問がありましたが、ヤングケアラーの家庭についても対象になります。

そういった家庭があった場合、ホームヘルパーを派遣することによって、効果が期待できるかを関係機関と協議したうえで取り組んでまいりたいと考えております。

（委員）

実際に家庭の中に入ること、お子さんのこととか具体的にわかると思いますので、周知していただいて、いろんな御家庭に利用していただけるようお願いしたいと思います。

（議長）

はい。1点目はそういうことでよろしいでしょうか。

では、引き続き、2点目をお願いいたします。

（委員）

次に、事業番号8「一時預かり事業」になります。

令和4年から事業を拡大していただき、鶴枝保育所で一般型として受け入れ枠を増やしたと伺っております。

こちらの事業、始まってどのぐらいの利用者がいらっしゃるのか伺います。

（議長）

はい。事務局。

（事務局）

鶴枝保育所で令和4年度から始まりました一時預かり事業について、利用者の方は、令和4年4月が13名、5月17名となっております。

やはり、コロナ禍の影響等もあり、さほど利用者は多くはないですが、登録者は増加しております。

この事業は、事前に登録をいただいて、アレルギーの有無などを確認したうえで利用していただくようになっております。昨年度から継続して利用する方が9名、それに加えて4月から6月で16名の新規登録者がおります。

潜在的ニーズは高いと思われますので、今後は利用者の増加につながっていくものだと思います。以上でよろしいでしょうか。

（委員）

ありがとうございます。

やはり、お子さんと日々向かい合って、煮詰まってしまったときに一時預かりが利用できる、かなりお母さん方は安心して子育てができるかと思いますので、良かったと思います。

鶴枝保育所だとちょっと遠くて連れていけないという御家庭があると思いますので、更に増やしていただけるとありがたいと思っております。

(議長)

はい。続いて3点目お願いいたします。

(委員)

3点目はどちらかというと要望なのですが、事業番号9「延長保育事業」になります。

公立保育所の豊田保育所で、早朝の時間帯も預かっていただいているかと思います。

やはり、公立で豊田保育所だけという、早朝の時間帯に豊田保育所まで連れて行って仕事に行くというのが厳しい御家庭もあるかと思いますので、できればもう少し数を増やしていただければと思うのですが、そういう御予定があるのかを伺います。

(議長)

御要望ですけれども、御回答あれば、よろしくをお願いいたします。

はい、事務局。

(事務局)

はい。公立保育所における、早朝の延長保育を実施する場所を増やしてもらいたいという御要望でしたが、市といたしましても、延長保育は非常にニーズの高い事業だと認識しております。朝の早い時間に預けられるというのは保護者にとってもメリットがあると思っておりますので、事業の拡充は行いたいと思っております。保育士の確保等いろいろ諸問題がありまして実施できていないのが現状でございます。今後は、増やせるように協議して前向きに検討していきたいと考えておりますので、御理解いただければと思います。

(委員)

前向きに検討していただけるということでしたので、よろしくをお願いいたします。保育士が少ない中、進めていくのは大変だと思いますがよろしくをお願いいたします。

(議長)

はい、ありがとうございます。

それでは引き続き、4点目。よろしくをお願いいたします。

(委員)

4点目は事業番号10「病児保育事業」になります。

現在、白子町の酒井医院と委託契約をしていただいて、利用できるようになったことで、かなり働くお母さん方は心強く思っているかと思います。

ただ、市外にあるということと、杉の子保育園とか認可外保育園でも病児保育をやっていると伺っておりますのでそういったところを利用された方にも補助が出せたら良いかと思っているのですが、そこら辺のお考えを伺えればと思います。

(議長)

それでは、事務局、御答弁をお願いします。

(事務局)

確かに、認可外保育施設の杉の子保育園で病児・病後児保育を行っていることは把握しております。

現在は、白子町の酒井医院に委託しておりますが、以前は市内にも1施設ありました。そちらが廃止となって、使い勝手が悪くなったという声はそれほど多く聞こえてきてはおりません。

今後、認可外保育施設等を補助していくのかは、まずは実態把握をしたなかで、今後、検討させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(委員)

はい、ありがとうございます。

実態を把握していただくことでいろいろと見えてくるものがあるかと思いますので、お忙しいとは思いますが、ぜひよろしくお願いいたします。

(議長)

はい、ありがとうございます。

では、最後に5点目お願いいたします。

(委員)

事業番号11「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」のことにになります。

いろいろ整備していただいて、学童クラブの利用し易さが上がったかと思います。

その中でも、児童数が多い萩原小学校区とかは、なかなか学童クラブに入れないという声も聞いております。

利用できなかった場合に紹介できるサービスがあるのかと、入れなかったお子さんが多い学区についてどのようにしていく御予定があるのかをお伺いします。

(議長)

事務局、答弁をお願いします。

(事務局)

利用できなかった場合の代わるサービスは、無いのが現状です。

子どもが多く、学童クラブに待機児童が出ているところがあるということは認識しておりますので、計画的に学童クラブの整備をしていきたいと考えております。

市内に、萩原小学校や東郷小学校等、待機児童が多いところがありますので、実態把握をしながら整備していきたいと考えております。

(委員)

ありがとうございます。

不審者情報や事件に巻き込まれたり等のニュースもありますので、ぜひ学童クラブも併せて整備していただければと思います。

(議長)

5つの事業について、御質問がありました。他にございますか。

はい。どうぞ。

(委員)

萩原学童クラブの佐野と申します。よろしくお願いいたします。

事業番号11「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」について質問させていただきます。

毎年、夏休みだけの学童クラブを市で実施していただいておりますが、本年度の夏休みの学童クラブの定員が足りたのか、不足しているのかを教えてください。

(議長)

御答弁をお願いいたします。

(事務局)

夏期学童についてですが、定員はお恥ずかしい話、不足しておりまして、現状では、40名近い待機児童がでている状況でございます。

(委員)

ありがとうございます。

私どものところにもかなり問い合わせが来ておりまして、毎年のことですので、夏休みのことについては、特段、資料に記載はありませんが、保育時間が長くなり、御不安の保護者もたくさんいらっしゃると思いますので、ぜひ次年度は対策をお願いしたいと思っております。

もう一点よろしいでしょうか。

先ほど、一部の小学校区で待機児童が出ているというお話がありましたが、実例で申し上げますと萩原学童クラブは、おそらく市内で唯一延長時間に終わりが無い学童クラブです。入学前に事前に調べられて、延長保育の時間制限がないので萩原学区に転居してきたという方がたくさんいらっしゃいます。

そのため、申し込みが非常に多く、転居して家を構えたのに入れなくて非常に困っているという、苦情に近いお声が学童クラブの方に届いております。なんとか低学年優先で選考しておりますが、それでも全く足りない状況がここ数年続いております。施設の増設等をお考えということでしたが、具体的にはどこの学区で検討されているのかお伺いします。

また、増設、増築した場合に、運営の主体がどこになるのか、もし具体的に決まっていれば教えてください。

(議長)

はい、事務局の答弁をお願いいたします。なかなか鋭いご質問です。

(事務局)

具体的にどこの学区で検討しているのかを申し上げることは出来ないですが、計画的に整備していければと考えておりますので、御理解いただければと思います。

(議長)

よろしいですか。

(委員)

すみません。運営主体は、具体的には、保護者会運営に委託するのか、また公設の方で運営していただけるのか、もしお考えがあれば御回答いただけると非常にありがたいです。

(事務局)

現時点でその運営主体をどうするのかというところまで、細かい部分の詰めはまだできていません。今後どうしていくのか、公設でやるのか保護者会でやっていただくのかといったところも併せて検討していきたいと考えております。

(委員)

ありがとうございます。

(議長)

大変ニーズの高い事業でございますので、お金の伴うこともあるかとは思いますが、

スピーディーな対応を私からもお願いいたします。

他にございますか。

(委員)

2点あります。今の学童の続きのことが1点ございまして、自身の子どもが萩原小学校に行っていますので、1年生が今年4クラスあって、あの辺の宅地造成が進んで、たくさん家が建っていて、どんどん林が家が変わっている状況です。学区でいえば東郷、東部そして、豊田が増えていて、獅子吼園の子どもたちは豊田小学校に通っておりますが、ゆたか団地のあたりが一気に増えて、学年をどうするかという話題もちらほら聞こえたり、登校班もゆたか団地から来る子だけが多くなっております。

けれども、子どもが多いのは今後1～3年くらいまでで、また減ったりすることが考えられます。緊急を要するという意見と整備状況とが一致するように進めていかないと、3年後に整備やりますと言ったときには、もうそんなに枠は要らないんじゃないかという議論が出てくるのは想像に難くないと思っておりますので、相当スピーディーな進め方が必要なんだと思います。

保護者としては、先ほどの幼稚園、保育所の確保と同様に、学童クラブについても希望するところに行けることがより良いと思いますし、そこで事業者側がある程度淘汰されてくるっていうことはあるかもしれないですが、まずは、ニーズの高いところを優先的に、スピーディーに整備を進めて欲しいというのが、保護者意見ということ で述べさせていただきます。

2点目が、私事にも関わることでして、質問というよりかは、決意表明みたいになってしまうかもしれないのですが、事業番号6「子育て短期支援事業」のことについて、とてもニーズがあるということは聞いておりましたし、エンゼルプランができた1994年の後からずっと制度自体が事業としてはあったという流れの中で、どこの事業者も手を挙げないというのは、それだけ大変だということだと認識をしています。

児童養護施設という、お子さんを預かることをずっと生業としてきているということでお声をかけていただいたりもしましたが、場所とか、スペースだとか、最後に人の問題ということで、なかなか着手することができませんでしたが、令和6年4月から、専用の居室を設けて、定員4人ぐらいで預かりできるよう体制を整えようというのが今の計画でございます。

このショートステイ自体できるところが、別に児童養護施設に限っているわけではないので、里親登録される方もできますし、利用できると思うんですけども、なぜこれがなかなか、出来ないんだというと簡単に言うと責任が重いんですね。

お預かりするということで、先ほど病児保育事業が減っているのもそうですし、事業番号7「ファミリー・サポート・センター事業」のマッチング件数も前年に比べて減っています。やはり、1人の子どもをお預かりするのは、その間に何かあったらどうするの、それを見る人のスキルや思いだけでできるのかということも含めて、非常にレベルが高い事業ではありますが、一生懸命取り組んでいきたいと思っています。

御質問というところで言いますと、茂原市の子育て支援がどんどん進めばいいなということは、市内の子育て支援の一員を担っている立場からすると、意識高く持っているところですが、茂原市以外の方のショートステイ利用を受ける気はあまりないです。他市町村のお子さんを受け入れている施設もありますが、茂原市に寄与したいということを法人内で強く思っ手て手を挙げたということもある中で、いろいろと国の施策が変わってきているところがあって、実際どれくらいのニーズがあるのかということをや取りさせさせていただいて、いろいろな機関からご意見をいただいたりもしています。

実際どういう方が利用されるのかということが一番想定されているのかなということについて質問させていただきます。

(議長)

はい。事務局どうぞ。

(事務局)

はい。今考えているのは、ショートステイの場合ですと期間が長くて7日間の預かりになるかと思いますが、その期間で対応できるような、御両親の短期間の入院や、急な用事とかで子どもを面倒見てくれる人がいない状況での利用を考えております。

また、育児SOSとか、お子さんを誰かに見てもらいたいという場合の利用も考えております。

(委員)

登録をされた人とかではなくて、唐突に電話がかかってきて、明日から利用させてくださいという利用も含んでいますか。

(事務局)

そうです。急な利用に対応できるかは、その都度検討するかと思いますが、そういった急な利用も含めて考えております。

(委員)

保育所の利用はアレルギーがあるお子さん等について事前に把握したりして、預かることに責任をもっているかと思いますが、今の話だと、どういうお子さんで、どういう家庭環境で育ったのかも分からないのに、急に何日間か預からなといけないということになるかと思いますが、この件については少し検討したいと思います。

(議長)

1点目の学童クラブについて答弁はよろしいですか。

先ほどの補強ということによろしいですか。

(委員)

はい。大変な姿を私見していますので。

(議長)

子育て短期支援事業については、事務局からの説明にもございましたとおり、今まで取り組めなかった事業について、今の決意表明で2年後に開設を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは他に、ございますか。

それでは最後になりますが、資料1-3「分野別施策の推進」について、これは全部で43事業ありますけれども、何か御質問、御意見ございましたらよろしくお願いいたします。

はい。どうぞ。

(委員)

事業番号37「自閉症及び乳幼児の発達障害への対応」について、学校教育課で公立保育所と幼稚園については、発達が心配なお子さんの巡回指導ということで、回っているかと思います。ほのおかこども園や、もばら空と杜のこども園が開設されましたが、そちらに通われているお子さんで、発達が心配なお子さんがいたときに、巡回指導は公立しかやっていないということで、対象としていないというお話を伺いました。

やはり、市内に住んでいるお子さんの発達についての支援体制といったところでは、私立公立関係なく支援できる体制を整えていただければと考えているのですが、その対応について伺えればと思います。

(議長)

はい、事務局、御答弁をお願いいたします。

(事務局)

はい。巡回相談は非常にニーズが高く、特に小学校で要望が多いものですから、定期的なものの他、要望がありますと、そこにプラスして回らせていただいています。その中で、当然、公立は、保育所にも行っているのですが、今のところ、担当の人数が少なく、私立にあてるという事が出来ておりませんので、必要に応じてしていかなければ、というふうには考えておりますけれども、今後協議して参りたいと思います。

(委員)

児童数は減ってはいますが、発達に課題を抱えているお子さんは増えていると思いますので、学校に入ってから対応、親御さんの理解等、大変、御苦労があるかとも

いますが、就学前のお子さんの支援もお願いいたします。

(議長)

ありがとうございます。他に御質問・御意見ありましたらお願いいたします。

無いようでしたら、何か今一度、全項目対象でありますでしょうか。

それでは、以上をもちまして、令和3年度茂原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、御説明並びに質疑応答を終わらせていただきたいと思います

**(2) 第2期茂原市子ども・子育て新事業計画の中間年の見直しについて
＜事務局から、資料2に基づき説明＞**

(議長)

ただいま事務局から御説明いただきました。

何かこれに対して、御意見、御質問はありますか。よろしいでしょうか。

今日の質疑の中で、今の説明以外にも留意すべきことがあると感じております。もし可能であれば、そういうことも含めて、見直しの中で、予算が伴うこともあるかとは思いますが、できるだけ検討いただければと思います。

以上